



今回、養護教諭の皆様にお知らせする機会をいただきました。ぜひご活用ください。

視覚支援センターの 目と見え方の「相談・支援」について

保護者や学校の先生方から「視力は低いけれど、よくやっている。わりと見えているようだ。」という声をよくお聞きします。しかし、矯正視力が 0.3 未満であれば、児童生徒は必ず何らかの困り感が出てきます。視力がよくても見え方に困り感がある人もいます。年齢が低ければそのことに気づかない場合や、年齢が高ければ周囲の目が気になり、訴えることが難しい場合もあります。

見えにくさは個人差が大きいです。児童生徒の様子から、気になることがありましたら、いつでも視覚支援センターへ連絡・相談ください。

1 これまでにあった相談者（本人・保護者・先生）の声

- 黒板の文字やプリントが見えにくく、読めない。
- 時計や定規の目盛りが読みにくい。
- 視力が低いけどどんな職業に就けるのだろうか？
- 視力検査ができない。どんな見え方なのだろうか？ 等



この他「集中が持続しない」「学習意欲が低い」「登校しぶり」がある方の中に、見え方に困り感がある例もありました。



2 実際の支援例

- 学校における視覚補助具の使用指導（ルーペ、単眼鏡等）
- 学習上の困難解決（コンパス・定規の使い方、運動等）
- スクリーニングによる実態把握（見え方）
- 進学や進路に関する情報提供



視覚支援センターでは、ご本人はもちろん、先生方のサポートもしています。

相談・支援のお申込み、お問い合わせは、電話・メールにてお待ちしております。

視覚支援センター



山形県立山形盲学校内（上山市金谷字金ヶ瀬 1 1 1 1）

TEL：023-672-4116

Email：yyamamo@pref-yamagata.ed.jp

ホームページ：http://www.yamagata-sb.ed.jp